

前橋 青春の会 会報

The Youth Society of Maebashi

Vol.5

2004年6月2日発行

名誉会長就任挨拶



前橋市長 高木政夫

このたび「前橋青春の会」の名誉会長に就任をいたしました。本会と深いつながりのあるバーミングハム市は、1998年に前橋市と友好都市提携を締結して以来、これまで民間を中心に活発な交流が図られており、親善がますます深まっております。現在のような親密な友好関係を築き上げるまでには、田子会長さんをはじめ「前橋青春の会」の皆様の並々ならぬご努力があったことはよく存じており、関係各位に心からの敬意と感謝を申し上げます。

さて、私は、この2月に多くの市民の皆さんから、熱い思いをいただいて、第17代の市長として、市政をお預かりすることになりました。県都前橋を再生してほしい、子や孫に誇れる新しい前橋を創造してほしい、という切なる願いに応えるため、私は、「夢」「未来」「安心」をキーワードに、「風光る前橋」をめざして、楽しい市政づくり、元氣なまちづくりに日々、全力を尽くしてまいります。

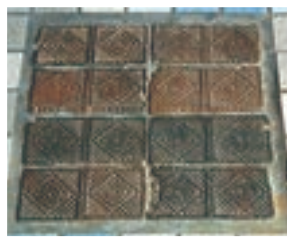
そうした中で、近年、国際化の急速な進展に伴って、国際交流はこれまでも増して重要になってきております。私も県議時代から、国際交流活動には少なからず携わっており、本市においても一層発展をさせてまいりたい分野であると考えております。現在、国際交流の潮流は、従来の「国と国」の関係から「地方自治体」同志の交流、さらに、それより進んだ民間主体の交流へと、移行しております。そのための核になるのが市民同志の交流活動を活発に行っている民間

団体であることは言うに及びません。

このような意味で、他に先がけて地道な民間交流を進めてこられた「前橋青春の会」は、これからの本市の国際交流において、ますます大きな役割を果たしていくものと確信をしております。どうか皆様には、本市における国際交流活動の推進にさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、「青春」とは人生のある期間でなく、心の持ち方を言う。「このサムエル・ウルマンの詩の節は、これまでたくさんの方々から「座右の銘」として活用されておりますが、私自身も、いつまでも青春の気持ちを持ち続けたいと願っております。今後とも、ウルマンのすばらしい精神が広く一般の方々に引き継がれていくとともに、「前橋青春の会」のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

バーミングハム市 石畳設置記念式典



昨年4月に開催された「第4回前橋シティマラソン」へバーミングハム市の招待選手として参加したボブ・クラークさんが、友好都市街路交換セレモニーの際に持参して頂いた石畳の設置が完了し、前橋銀座通りのスズラン前橋店新館前で昨年11月22日に石畳設置記念式典が行われました。この石畳は「バーミングハム ブリック」と言い、19世紀末に同市内の歩道に実際に設置されていたものを切り取って下さった、非常に歴史深い石畳だそうです。

当日は強風の寒空の下、前橋青春の会名誉顧問でもある萩原弥惣治前市長を始め、前橋市国際交流協会、前橋中心商店街協同組合・コムネットQ・前橋青春の会役員が、テープカットを行って石畳の設置を祝いました。

青春 サムエル・ウルマン



青春とは、人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言う。月の満ち欠けのように日々かわる面差しではなくて、大海の如く、深山の如く、巨空の如く、熱き血潮、炎ゆる情熱、崇高なこころざし、愛泉のごとく沸く感動を持ち続けることをいう。年を重ねただけでは、人は老いない。ただ己の中のもうひとりの己との手と手が離れたとき、ともしびを見失う。

歳月は、皮膚のしわを増すが、情熱をあきらめる時に、心は朽ちる。しのびよる不安、恐怖が己を侵食し、暗黒のやみに、おひやる。六十であるうと十六であるうと、胸中に住み入る己とは、太陽や月の光より遠くに居る、天地は己を包む。太陽と月は、己のままに動き、四季は己のままに変わりすべてのものが己のままに生かされる。心こそ無上のものである。

人と、大地と宇宙から、美、希望、勇気の鼓動に真の恍惚を感じる限り己は若い。己の心が、

吹きすさむ雪と冷笑の氷にとざされた時、たとえはたち（二十歳）であるうととそその一瞬にこそ老いてしまふことだろう。

ゆつくり豊かに光をあびて、芳香と情熱の波動を、受け止められる限り、さんじゅ（八十歳）であるうとも青春である。素晴らしい笑顔と、熱くなる胸を忘れずにいたい。

邦訳 養田 博美

発行／前橋青春の会 編集責任者／事務局 高橋 徹

事務局／前橋市大友町3-12-9 東峰ビル TEL.027-254-5239 FAX.027-254-5259

The “Youth” Society of Maebashi

「新青春の会」 設立総会が開催

平成15年10月18日の土曜日にJR市ヶ谷駅に程近いアルカディア市ヶ谷において、「新青春の会」設立総会が開催されました。

当日は、はじめに事務局から設立経過報告が行なわれた後、世話人渡辺弥生司さん・土屋公献さん・竹内宏さんらが挨拶され、塩地薫さんの音頭で「青春の詩」の斉唱が行なわれました。引き続き飯野公さんの音頭で乾杯、懇談に移り、当会会長の田子和則からの祝辞を述べさせていただきました。

その後、田川昌央さんから詩吟「青春」が披露されました。続いて、参加者一人一人から新青春の会に寄せる思いや、青春の詩に対する感動、感激などがスピーチされ、星野哲郎作詞、アルフィーの「青春」を参加者同で合唱、最後に吉坂克彦さんの音頭で万歳三唱をし、和氣あいあいと和やかなムードの中、散会となりました。

宮沢次郎会長の逝去により、東京「青春の会」が平成12年3月31日をもって解散され、元青春の会会員有志がこれを引き継ぎ、「新青春の会」が設立されました。



▲元青春の会会員有志を始めサミュエル・ウルマンの「青春の詩」に思いを寄せる30名が出席されました



▶当会会長の田子和則氏

友好都市アメリカ バーミングハム市訪問記

この度、数年ぶりに友好都市バーミングハムを訪問する機会に恵まれた。今回は、テロ事件以来、人的な交流が少なくなってきた事を憂慮し、「青春の会」として、ネットワークを強めると、今後の交流計画についての確認を目的とした渡航である。

●12月1日

バーミングハム空港では、懐かしい顔ぶれが迎えてくれ、思わず旅の疲れも消し飛んでしまふ。日米姉妹都市委員会のテッド・グリクリスト氏(2004.4.1からは、同会会長に就任)をはじめ日本本部会の面々、そして、友好提携の恩人であるダグラス・ムーア夫妻も駆けつけてくださり、一層感激を強くする。

●12月2日

一夜明けて、バーミングハム市役所へ。行政補佐官のスコッティ・コルソン氏、通訳で地元在住の森谷さんと市庁舎へ向かう。丁度、市議会の開催中で傍聴させて頂き、キンケイド市長の計らいで審議休憩中に我々を紹介してもらった。さらに、プレゼント交換の場面も作っていた。市長自身もできれば今年の秋には、来橋をしたいとのことである。



スケジュールの調整ができた第2連絡をするとのこと。また、10月頃にはアーティストグループを前橋市へ派遣して地元アーティストとの芸術交流文化を考えているということで、協力をいただきたいという話が

あった。その後、日米姉妹都市委員会のメンバーとの会議に臨み、今後の両市の友好交流について話し合いを行う。同組織は、「青春の会」と同様、民間の任意団体で友好交流親善にボランティアが尽力している。今後は、「前橋市国際交流協会」を入れた三者で役員、会員の人的交流を積極的に行うとともに、連携を取りあい民間レベルでの友好を図ることを確認する。

●12月3日

バーミングハム市立美術館を見学。2005年には田子会長の「宮大工展」の開催される会場であるが、あいにく直接の担当者のドナルド・ウツド氏(東洋美術部長)が出張のため、館内の見学等にとどまる。また、「サミュエル・ウルマン記念館」も訪問し、ウルマン氏の人物と「青春の詩」の精神の素晴らしさに触れ改めて感動するとともに、より多くの前橋の方々には足を運んでもらい同じ体験をしてもらいたいと感じる。



●12月4日

翌日は、アトラクタへ移動。折しも天皇陛下の生誕を祝うパーティーが「アトラクタ日本国総領事館」の主催で開催されており、現地在住の高原氏(日本レストランNAKATO)の紹介によりパーティーへ参加させていただき、総領事の久枝氏と話をする機会に恵まれる。「青春の会」が行っているような民間交流は積極的に応援したい。2004年は、日米交流150周年を迎える節目の年であり、「日米の架け橋」となれることを大いに期待する。」というコメントをいただく。

終わりに――

趣味で自宅庭を日本庭園に作り替えたというダグラスの友人宅に招かれた時のこと。日本からの友人ということで大変な歓迎を受け、さらに、その話を聞きつけた近所の方が我が家に伝わる日本刀を是非見てほしいと尋ねてきた。中国大陸から戦利品として叔父に当たった方が持ってきたらしく、大切に保存してあった。

やはり、彼らにすればまだ、日本は遠い国で見えるもの聞くことがすべて珍しいのだろう。昨今は通信技術の発達により、リアルタイムで相互の情報分かち合い、さらにメールでコミュニケーションも簡単に取れる。しかし、そういう状況だからこそ、訪問をして実際に顔を見ることが相互の信頼維持に繋がることが今回の訪問で実感できた。一見、非効率でアナログ的な対応だが、却って心にしみ込む交流になるのだろう。「青春の会」としても今後、できる限りの機会を捕らえて市民相互が行き来し合うプログラムを考えていきたい。

実際に顔の見える交流が無いと長続きはしないだろう。

前橋青春の会事務局 局長 蜂巣 貞夫

平成15年12月

入会のご案内

前橋青春の会とは…

サムエル・ウルマンの詩「青春」や優れた先人たちの残した教え・格言に学び、自己啓発に努め、会員相互の親睦を図ると共に、サムエル・ウルマンの活動の地、バーミングハム市民との民間交流の推進を目的とした会です。

前橋青春の会では、随時賛同者の方を募集しております。

お問い合わせ、申込書のご請求は事務局までどうぞ。

〒371-0847 前橋市大友町3-12-9 東峰ビル

前橋青春の会事務局 担当 松本

TEL.027-254-5239

FAX.027-254-5259